



授業や家庭学習，充実していますか？

本日から正規日課となり、3年生の学習も本格的にスタートしました。各教科で「授業の受け方」「評価について」の話があったと思います。一昨年度から新学習指導要領が全面実施され、「主体的に学習に取り組む姿勢」「粘り強く学習を行い、よりよい学習になるよう工夫・調整する力」「わかりやすく考えをまとめる力」「相手にわかりやすく説明する力」等々が、これまで以上に求められるようになりした。授業で求められていることを再確認し、昨年度以上に授業を大切にするようにしましょう。

それと同時に、家庭学習を充実させることが重要です。今号では、3教科（国・数・英）の授業や家庭学習のポイントを紹介したいと思います。この号をきっかけに、自分の勉強を見直してみてください。

国語

<授業では>

- ・「向上は授業から。」1時間の授業を大切にしよう。1、2年生の時と違い、3年生では週3時間の授業時間となります。それだけに集中力が問われているということになる。
- ・全ての発問を「自分だったら」と受け止め考える。そして発表してみる。声に出すことがベスト。
- ・ノートまとめは黒板以外にも、教科書やメモをもとに工夫してまとめる。
- ・「読む力」は国語の授業だけで身に付きません。普段の生活で新聞などを積極的に読むように心がけよう。
- ・「書く力」は小作文の課題を多くやってみよう。定期テストに出題された程度の作文はすらすらと書けると良い。3年生ともなると書くスピードも大事。そして、自分の考え・意見を話し言葉でなく、書く練習をすると力がつくはず。
- ・「話す力・聞く力」は英語のリスニングテストのように、集中力がとにかく大切。コミュニケーション能力は、話す力につながるので、普段の生活でもしっかりした言葉づかいをするようにしよう。そして、少しの勇気を出して発言することが大切。「しゃべり場」を活用して、自分の力を試してみよう。

<学習の進め方>

- ・「読む力」を付けるためには、集中することが必要です。授業中に私語をしたり、他のことをやっているようでは駄目です。
- ・「書く力」を身に付けることが国語の力を伸ばす最大の方法です。課題が出され、何を述べるのか、条件は何であるかを確実に理解することが大切です。
- ・家庭学習は毎日やりましょう。とにかく、毎日やることです。いやいや行っている人と自ら計画的に行っている人との差は、受験期に大きく出ます。

<絶対に解きたい問題>

- ・漢字 よく見る、よく出る漢字を自分が覚えられる範囲で、毎日、何度も書いて覚える。
- ・長文問題 自分もっている問題集で、時間的負荷をかけて取り組む。(制限時間20分であったら、15分とか10分で解いてみる。また、間違えた答えの解説を写す。)
- ・古文 多くの初見問題に取り組み、問題に慣れる。
- ・作文 図やグラフからわかったことを読み取り、意見文を書くという問題が最近の傾向です。時間を計りながら速く、きちんと条件に沿って書けるかを練習する。

数 学

数学の学習は、積み重ねが大変重要です。中学校では小学生のときに学んだ算数を使って学習を進めています。そして、どんな領域の問題を解くにしても基本となるのは「計算力」です。これまで学んできた計算問題でつまずきがある人は、必ずそれを克服しなければなりません。つまずいた所まで戻って学び直す必要があります。計算問題にも、基礎的な計算からやや応用的な計算までいろいろあります。決められた法則に従って解いていくことになるので、一つひとつ確認しながら確実に解けるようにしていくことが大切です。また、他の教科と同様に、数学も「わからない問題をそのままにしない」ことが重要です。わからない問題を放置せず、質問をして、解決するようにしましょう。

<学習の進め方>

- ① 問題を解き、○つけをして、自分が解ける問題か、解けない問題か確認する。
- ② 解けない問題の解説を見ながら、途中式をきちんと書いて解答する。
- ③ もう一度、同じ問題を解く。 ※全問正解するまで繰り返し行う。
- ④ 全問正解したら、次の単元に進む。 ※時間配分を決めて解くことも必要。

※毎日練習することが大切です。My math を活用しましょう。

<絶対に解きたい問題>

- ・ 正の数・負の数（加法、減法、乗法、除法、四則計算）
- ・ 連立方程式（加減法、代入法）
- ・ 文字式（加法、減法、乗法、除法、四則計算、分配法則）
- ・ 式の計算（分配法則、展開、因数分解）
- ・ 一次方程式（等式の性質、移項、かっこ、小数・分数、比例式）
- ・ 二次方程式（因数分解、平方根、解の公式）
- ・ 平方根（加法、減法、乗法、除法、四則計算、分配法則、展開）

英 語

<授業やテストでは>

説明をよく聞き、課題を進めましょう。宿題は、なるべくその日のうちにやると良い復習になります。英作文の課題や会話においては、それぞれのテーマについて自分の考えをしっかりと持つことが大切です。会話や発音練習には積極的に取り組みましょう。本番の入試ではスピードも大事です。長文問題は1文1文訳しながら読むのではなく、「ざっくり読む」と「キーワードを見つける」を上手く使い分けながら解くことを意識しましょう。

<学習の進め方>

- ① ワークやe board、e ライブラリーを活用し、文法の問題を解く。
※答えがわからない、または間違いが多いところを重点的に復習する。
- ② 単語は単語のイメージを持ちながら、音読したり、書いたりして覚える。
※覚え方は人それぞれ。
- ③ 長文問題は時間を計って問題を解く練習をする。
- ④ とにかく、楽しく英語に慣れる。英語の音楽を聴いたり、映画を観たりする。

<絶対に解きたい問題>

- ・ ワーク……答えを覚えるくらい取り組むのがベスト
- ・ 1、2年の定期テスト ……リスニング以外を、40分で時間を計って解き直し
- ・ 曜日、月、数字、序数、人称代名詞（I, my, me, mine）の表、不規則動詞活用表 ……言える、書ける